

いしかわ 県薬レポート

2014、1 No.70

編集発行
金沢市広岡町イ25-10
(石川県薬事センター内)
公益社団法人 石川県薬剤師会
会長 能村 明文

目 次

- 年頭所感
石川県薬剤師会
会長 能村 明文…… 2
- 新年ご挨拶
日本薬剤師会
会長 児玉 孝…… 3
- 年頭にあって
参議院議員
藤井もとゆき…… 5
- 第53回北陸信越薬剤師大会
第46回北陸信越薬剤師学術大会… 6
- 北陸信越薬剤師大会を企画して
三浦 智子…… 9
- 大会役員名簿………11
- 記念講演をお聞きして
金田 孝子……12
- 北陸信越薬剤師大会に参加して
竹端 裕……13
- 北陸信越薬剤師学術大会に参加して
吉藤 茂行……13
- 能村明文会長 旭日双光章受章祝賀会
中村 正人……14
- 第6回若手薬剤師指導者育成フォーラムに参加して
澤野 輝夫……16
- 私のポートフォリオ
小島 晴日……17
- JPALSインフォメーション………19
- 県民啓発講座
～シンポジウム～ (予告) ……20



三浦 智子 画



年 頭 所 感

公益社団法人 石川県薬剤師会

会 長 能 村 明 文

新年明けましておめでとうございます。会員各位には、心新たに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素より本会の諸事業にご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

この新しい年が会員各位にとって、輝かしい一年になることを心から期待致します。

本会は昨年4月に公益社団法人として新たな歩みを開始いたしました。

そして11月3日4日第53回北陸信越薬剤師大会及び第46回同学術大会を無事開催できました。

薬剤師大会及び学術大会どちらも多数の方が参加されました。また多くの方からねぎらいと感謝のお言葉を頂くことができました。これも準備を始めた当初から当日の終了まで運営に携わった多数の会員のご尽力のお陰であります。心から感謝申し上げます。

現在、石川県における医薬分業の進展は分業率（平成24年度）がようやく50%を超えて全国平均66%に近付きつつある現状です。

本年は確かな歩み更なる進展を目指し、同時に医薬分業のメリットを県民の方々に実感して頂けるような対策を講じてまいります。

また一般用医薬品販売におけるインターネットの問題については、既にご承知のように官邸は経済再生を図るため規制の緩

和を推進すること、そのために医薬品のインターネット販売を解禁致しました。同時に医薬品の安全性の確保を図ることを、厚生労働省において具体的対応策が検討されました。その結果昨年11月臨時国会において薬事法及び薬剤師法の一部を改正する法律が可決され、その内容が明らかになりました。

改正された薬事法に、あらためて「対面による」「書面を用いた必要な情報の提供」「薬学的知見に基づく指導」等の文言が銘記されました。また改正された薬剤師法においては義務としての情報提供に指導という文言が付記されました。この指導は薬学的知見に基づく指導を行うことであります。薬剤師の義務として法律に銘記されたことを自覚すべきです。

薬剤師法第一条には三大業務及び任務として謳われていて当然のことです。

社会が薬剤師の存在の有り方をあらためて示し自覚を促していることを、再認識すべきであります。

顔の見える薬剤師としてくすりの有効な服薬及び使用そして無駄のない薬物療法に関与し、効果が実感できる医薬分業を社会は求めています。

そして本格的な少子高齢社会の到来にあたり、急務である無菌調剤室における実地研修を重ね共同利用体制の進展を図ることは、本会の主要事業である在宅・介護医療

に対応するために必要不可欠な条件の一つであります。

それは今日の新たな医療の姿であるチーム医療が医療多職種連携強化を求めています。

益々薬剤師職能を専門職としての使命感や倫理感等をも育み向上を計る必要があります。

日本薬剤師会が提示する「プロフェッショナルスタンダード」を薬剤師生涯学習の指標として段階的に習得するJPALSへの登録を推め専門職能を十分身につけた薬剤師を目指すことがその基本的条件でもあります。

幸い本会は既に開講以来十年以上の歳月

を重ねた薬剤師生涯学習制度「プロフェッショナルスタンダード（P S）講座」を開催し、県内薬剤師対象に会員・非会員を問わず積極的に受講されています。

また本年11月には、金沢市において全国学校保健会が開催されます。同時に第64回全国学校薬剤師大会が開催されます。担当県薬として誠実に準備を行う計画であります。

本年もまた会員各位のご協力の下に、各種大会、研修会など、また適切な内容の事業を展開実施して、公益社団法人の名に恥じぬような素晴らしい一年になることを心から願って年頭のご挨拶と致します。



新 年 ご 挨 拶

公益社団法人 日本薬剤師会

会 長 児 玉 孝

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素は日本薬剤師会の諸事業に格別のご理解とご協力を賜っておりますことに、心より厚く御礼申し上げます。

昨年、本会は創立120周年を迎え、6月には記念式典を挙げる事ができました。薬剤師職能の確立のために奮闘された先達のご苦勞を偲ぶとともに、国民の保健・医療・福祉の向上に貢献していく決意

を新たにした次第であります。皆様には、これまでのご支援にあらためて厚く御礼申し上げます。なお、120周年記念事業につきましては、記念誌の発行、日薬会館建設等、本年中に実施する予定をしております。引き続きの御支援、御理解をお願いします。

また、昨年は、インターネットによる一般用医薬品販売、医薬分業、調剤報酬における様々な指摘等、薬剤師職能にとって厳しい一年でありました。

しかしながら、一方で、超少子高齢化に対応すべく、社会保険制度改革においては、薬剤師への期待は大きいものがあり、本年はまさにその期待に応えることができるか、医療・医薬品のプロとしての薬剤師の資質を問われる年と言えるでしょう。期待されている要点は次の3点です。

1. 地域医療における在宅医療・介護への参画

社会保障制度の骨子は病院完結型から地域完結型へ、そして地域包括ケアシステムへの参画です。そのためには、地域の医師はじめ他職種と連携のもと、いかに在宅医療・介護に関われるかが肝要であり、また一貫性のある薬物療法のためには、地域の病院薬剤師と開局薬剤師の薬業連携が不可欠です。

2. 地域の健康づくり拠点としてのかかりつけ薬局・薬剤師の機能の充実

社会保障制度改革では一方で、“自助”つまり“自分の健康は自分で守る”というセルフメディケーションの推進、及び、予防、未病、重症化対策にも重点がおかれています。薬剤師として、地域の生活者に対して受診勧奨、OTCの活用、健康食品等の食養生、休息等の選択へのアドバイスにどう関われるか、更に、処方せんがなくても、OTCを買わなくても気軽に常に健康相談できる、まさに“街の薬局”になれるかどうかが問われています。更に本年は、4月からインターネットによる一般用医薬品販売が始まります。生活者にとって、従来の店頭において薬剤師の直接対面による購入

方法に、新たに、インターネットによる購入方法という選択肢が加わります。まさに“対面”を通して薬剤師の医薬品のプロとしての技量が問われることとなります。

3. 地区薬剤師会の組織の充実

1. 2で前述しましたように、社会保障制度改革における、薬剤師への期待に応えるためには、個々の薬剤師の努力が基本であることは当然ではありますが、それを支援する地区薬剤師会の組織的支援が不可欠です。組織的支援とは、個々の薬剤師が行動しやすい、周辺環境の整備です。

具体的事例としては、地域の各医療・介護等の関係団体、市町村関係行政、病院や保健センター、地域包括支援センター等関係施設、そして、婦人会、老人会等、地域住民組織等への薬剤師の職能の有用性の理解を求める組織的活動は、地区薬剤師会であればこそ、実行可能なことと思います。

是非、本年は、地区薬剤師会の組織の充実、強化を宜しく願います。

本年は午年ですが、皆様方にとって、疾走する駿馬のごとく、希望に満ちた躍進の年になることを願っております。

末筆ではありますが、皆様方のますますのご健勝とご発展を祈念申し上げますとともに、今後とも本会事業にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。



年頭にあたって

参議院議員

薬学博士 藤井もとゆき

新年明けましておめでとうございます。薬剤師会会員の皆様には、お健やかに輝かしい新たな年をお迎えになられたことと、心よりお慶び申し上げます。

一昨年末に与党に復帰した後、昨年7月の参議院議員選挙でも多くのご支持を賜り、ねじれ国会を解消することができ、安定した国会運営が可能となりました。少子高齢化が進展していく中での安定した社会保障制度を維持するための改革に努力してまいり所存であります。

さて、昨年は1月の最高裁判決により、薬事法の省令で第3類医薬品以外の一般用医薬品のインターネット販売を禁止していることは薬事法の委任範囲を超えているとされ、すべての医薬品について事実上インターネット販売が可能なる状況となってしまいました。そのため厚生労働省の検討会において、インターネット販売の妥当性や安全販売についてのルール作りが行われてきましたが結論が出ず、6月14日閣議決定された日本再興戦略において、「一般用医薬品は、インターネット販売を認めることとする。スイッチ直後品目及び劇薬指定品目については専門家による検討を行い、秋頃までに結論を得て、制度的な措置を講じる。」とされました。そして、11月12日の持ち回り閣議で薬事法及び薬剤師法の改正法案が閣議決定され、臨時国会に提出されたわけです。これにより、一般用医薬品から、スイッチ直後品目（23品目）、劇薬指定品目（5品目）を新たな区分である「要

指導医薬品」に分類替えし、薬局医薬品（医療用医薬品を含む）とともに、「対面による販売」を薬事法により明確に義務づけることとなります。その結果、第1類医薬品を含む、すべての一般用医薬品のインターネット販売が可能となりますが、それ以外の医薬品については、薬剤師が対面での情報伝達や指導を行い、そして販売しなければならないことが法律で明記された意義は大きいと考えます。

また、本年4月には調剤報酬改定が予定されています。今後の医療の中での薬局の関わりにおけるキーワードは、「在宅医療」と「チーム医療」であり、このような医療への関わりを評価するような調剤報酬改定がなされるのではないかと考えています。一方、本年4月より消費税が8%に引き上げられ、引き上げに伴う対応が調剤報酬改定により行われています。一方、増税による国民生活や経済への影響が心配されていますが、引き上げ分はすべて社会保障財源となりますので、我が国の医療の質向上のために安心してその職能を果たせる環境が整備されることになると、前向きに捉えていただきたいと思います。

最後に、本年が皆様にとって、素晴らしい一年となりますことを祈念申し上げ、新年に当たっての挨拶と致します。本年もよろしくお願い致します。

（藤井基之ホームページ）

<http://mfujii.gr.jp/>

第53回 北陸信越薬剤師大会 第46回 北陸信越薬剤師学術大会

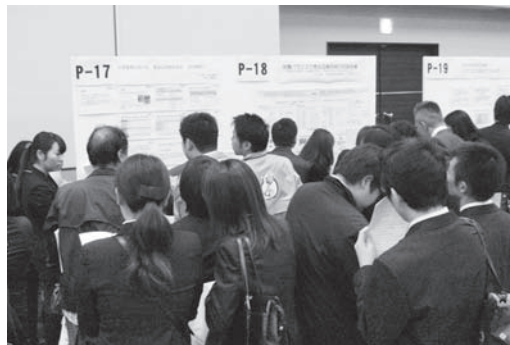
平成25年11月3日（日）・4日（月・祝）の両日、ホテル金沢に於いて、第53回北陸信越薬剤師大会、第46回北陸信越薬剤師学術大会が『Professional Standardの向上をはかる—薬剤師の信頼を確実にするために—』のテーマのもとで開催されました。地元石川をはじめ、福井、富山、新潟、長野県から約650名の参加がありました。

薬剤師大会 11月3日14:00～15:00

1. 開会のことば
（石川県薬剤師会副会長 中村 正人）
2. 薬剤師綱領 唱和
（石川県薬剤師会理事 竹端 裕）
3. 大会会長挨拶
（石川県薬剤師会会長 能村 明文）
4. 来賓祝辞
（衆議院議員 北村 茂男、他）
5. 来賓紹介
6. 北陸信越薬剤師会副会長紹介
（福井県薬剤師会会長 廣部 満）
（長野県薬剤師会会長 大塚 宰）
（富山県薬剤師会会長 松井 竹史）
（新潟県薬剤師会会長 長澤 敬一）
7. 祝電披露
（日本薬剤師会会長 児玉 孝、他）
8. 大会宣言案採択
（石川県薬剤師会 綿谷 敏彦）
9. 大会表彰式
北陸信越薬剤師会賞
受賞者 飯田 達夫（長野県）
上田 和雄（石川県）
大津賀 保信（富山県）
荻野 構一（新潟県）
清水 悠紀子（富山県）
高桑 一之（石川県）



10. 次期開催県薬会長挨拶
 (福井県薬剤師会会長 廣部 満)
11. 閉会のことば
 (石川県薬剤師会副会長 吉藤 茂行)



大会宣言

我々薬剤師は、人権の中でもっとも崇高な生命として健康の保持増進に寄与すべく、日々研鑽し努力を行っている。

今、激動する社会のなかで、薬剤師の真価が問われている。

薬剤師は医療の担い手として果たすべき目的を理解し医療の発展に寄与し、困難に立ち向かわなければならぬ。しかし薬剤師のもつ明敏なる知性と高潔なる理想が敬虔となることで、この難局を打破してくれることであろう。

先人たちの多大なる努力の結果、薬剤師は現在の職能を構築する事が出来た。さらにこれを次の世代に繋げるため、在宅医療に取り組み、人々の尊厳の保持と生命の尊重を旨とし、質の高い健康な生活を確保するため、不断なる努力を行い、薬剤師の真実と未来を輝かしいものとする。

右 宣言する。

平成二十五年十一月三日

第五十三回北陸信越薬剤師大会

記念講演 15:10～16:20

- 演 題 共同薬物治療管理
 ～医師と薬剤師の新たな連携～
- 講 師 ファルメディコ株式会社
 代表取締役社長 狭間 研至
- 座 長 石川県薬剤師会理事 金田 孝子



シンポジウム 16:30～17:40

生涯学習を考える

～薬剤師が薬剤師でありつづけるために～

座 長 石川県薬剤師会常務理事 中森 慶滋

- (1) 海外の薬剤師教育と求められる薬剤師像
医療法人社団KNI北原国際病院
一般社団法人ソーシャルユニバーシティ
後町 陽子

- (2) 日本薬剤師会が進める
生涯学習システムJPALS
日本薬剤師会生涯学習委員会委員長
上村 直樹

- (3) 石川県薬剤師会の生涯学習の取り組み
石川県薬剤師会副会長 吉藤 茂行



懇 親 会 18:00～

<幕出>ご祝儀「一調一管」

石川県指定無形文化財保持者 笛 藤舎 秀扇
鼓 堅田 乃莉

1. 挨拶 (大会会長 能村 明文)
2. 来賓挨拶 (石川県知事 谷本 正憲、他)
3. 乾杯 (石川県議会議員 紐野 義昭)
4. 中締め (石川県議会議員 米澤 賢司)



学術大会 11月4日

口頭発表 9:00～12:06

第1会場（発表数 9題）

（座長 渡辺 誠治、佐倉 有紀）

第2会場（発表数 9題）

（座長 崔 吉道、西上 潤）

第3会場（発表数 9題）

（座長 中森 慶滋、地野 幹子）

ポスター発表 9:00～12:00

ポスター会場（発表数 31題）

（座長 西尾 浩次）



北陸信越薬剤師大会を企画して



石川県薬剤師会 三浦 智子

平成25年11月3日、4日、第53回北陸信越薬剤師大会、第46回北陸信越薬剤師学術大会がホテル金沢で開催されました。

講演要旨集の表紙と懇親会のアトラクションは最初から能村会長のたっpegご希望で兼六園の写真と、「一調一管」にときまっていた。

大会宣言の草案は、またまた得意とする中森先生がお引き受けくださった。

大会記念講演の演者は、2年前のある会で狭間先生と同席という機に恵まれそのと

きに直ぐ北陸信越薬剤師大会のメイン講師にどうかとかがえた。そして私の近辺にいる5、6人の他県の先生方に「2年後も狭間先生は句でしょうか？」と失礼なことを尋ねた。皆、そうであろうという意見だった。

そこで、直ぐ狭間先生に北陸信越薬剤師大会のメイン講師をお願いしたい旨を告げ、ただし私一人では決められないので一応その日を空けておいてもらいたいと仮約束をした。

後日、皆の承認を得てそれはOK！

いつもは手間をとる表紙・アトラクション・メイン講師・大会宣言の草案など大事な骨格は決まったのだから、あとは、予定どおりに進んでくれればよい。

企画委員会の最初の会合で各人に割り当てが与えられ若い男性、竹端 裕先生に薬剤師綱領を、また声の通るカツレツのいい人に大会宣言（案）をとということで、綿谷敏彦先生にお願いをした。

もう1つ参加者にお渡しする記念品は何がいいか？

残らないものがないというので「加賀棒茶」に決まり、NHKの試してガッテンでリラックス効果があるといっていたからそのパンフを入れればよいという案がでた。私は早速該当の店に電話した。NHKが当店に取材に来たわけでもないのそのようなものは入れられませんという返事であった。なるほどそんなものか。ということで、金沢では老舗の茶店で揃えていただくことになった。

企画委員会は10月末に皆が集まり最終の練習皆が集まり最初から最後まできちんとやり、なんの不安もなく当日を迎えることができた。

当日は皆、言葉少なくコツコツと動き回っていた。ホテル側の細かな報告も安心につながりうれしかった。もう賽はなげられたのだ。私は企画しか分からないから大きなミスがないか何度もシュミレーションしていた。

総務、組織、学術の各委員の人達もみな

同じことをおもったであろう。

懇親会の会長のご挨拶で、満足している旨を話されておられた・・・だといけど・・・。

私はいつの間にか懇親の輪にとけこんでいた。

病薬の先生方、他県の先生方から、あれもよかった、これもよかった、と賛辞を頂き嬉しかった。

お手伝いくださった先生方のお力のお蔭です。支えてくださった事務局のおかげです。本当に感謝です。ありがとうございました。ごくろうさまでした。



第53回 北陸信越薬剤師大会 第46回 北陸信越薬剤師学術大会

役 員 名 簿

◎大会役員

大会会長	石川県薬剤師会会長	能村明文
大会副会長	福井県薬剤師会会長	廣部満
	長野県薬剤師会会長	大塚宰
	富山県薬剤師会会長	松井竹史
	新潟県薬剤師会会長	長澤敬一

◎大会実行委員会

委員長	能村 明文				
副委員長	中村 正人	吉藤 茂行	三浦 智子	西尾 浩次	兼田 春生
	向 孝次				
実行委員	五十嵐恵子	石浦祐喜子	今庄 恵子	大中 禎子	大橋 博子
	奥村美津代	乙田 雅章	笠原 友子	柏原 宏暢	勝木 宏
	金田 孝子	河崎屋秀敏	川尻 力	川尻 義典	神田 哲雄
	喜多 史子	北嶋 浩成	木谷 典子	北村 喜裕	北山 朱美
	北山 信明	木戸 千加	甲野 充子	小島 晴日	小林 星太
	崔 吉道	佐伯 潤子	坂本 慶一	酒屋 利信	崎田 敏晴
	佐倉 有紀	笹原紀代美	佐藤 智美	四尾 秋壽	芝本めぐみ
	下野 啓介	庄源 民湖	新藤 正人	杉浦 勇	成徳 裕子
	銭田 真里	高田 泉	竹端 裕	田端 敏郎	地野 幹子
	寺田 徹朗	東田 晃	直田 弥丈	中島 登	中村 康彦
	中村 安博	中森 慶滋	西上 潤	西島 宗和	西村 浩平
	丹羽 靖子	坡下 恭子	橋場万理美	橋本 篤子	橋本 昌子
	英 義雄	針田 昌子	平場芙美代	藤井ひとみ	藤原 秀範
	松榮 聡史	松川 泉	松田 泰美	松本亜希子	源 秀洋
	村井 裕大	村田世里子	山口佑希恵	山崎 敏誉	山本 満
	吉田 誠	米田 光紀	連代美和子	渡辺 誠治	綿谷 敏彦

(五十音順)

記念講演「共同薬物治療管理

～医師と薬剤師の新たな連携～」をお聞きして

石川県薬剤師会 金田孝子

講師の狭間研至先生は、ファルメディコ株式会社社長として薬局経営に携わる一方、医師としてもご活躍なさっている稀有な職歴を持った方です。

先生のお父様は、金沢大学薬学部ご卒業とのことで、会場には同期生の方もいらしたようです。また、お母様の経営なさっていた薬局を継ぐため、外科医から転向した経緯については、当日会場で配られた「外科医、薬局に帰る」の著書に述べられています。

日々の診療の中で感じていた西洋医学や医師、保険診療の限界が、診察室よりはやや開放的で日常の延長にある薬局の薬剤師が少し変わるだけでクリアできるという、薬剤師にとっては力強いメッセージがありました。

ご講演では、共同薬物治療管理について解説されました。

医師が診断し、治療方針を決定した後、薬剤師は、薬理的・薬物動態的に最適な用法・用量・投与ルート・投与期間を決定し薬物治療が開始されます。投与された薬剤の効果判定、副作用チェックもしな

がら、前回処方 の妥当性を検討し、次回処方へ反映させるという、薬剤師にとっては画期的な構想です。

現在の薬剤師は、「調剤、監査、投薬、薬歴記載」のXY軸の業務で終わっていますが、薬物投与のその後について関わることで、薬学教育6年制の教育が活かされるZ軸を持つべきであるとのことでした。狭い金魚鉢の水中から外へ飛び出るイメージです。バイタルサインやフィジカルアセスメントも共同薬物治療管理の一端を担う分野として理解できました。

先生は、終始、広い壇上を軽やかに移動しながら、情熱を持って会場の一人一人に力強く訴えてくださいました。人生というマラソンランナーである患者さんの側で、医師と薬剤師は健康面で支援する伴走者であるという言葉が印象的でした。

これまで、薬剤師が望んできた医薬分業の姿が見えたような、実りのあるご講演でした。



北陸信越薬剤師大会に参加して

河合薬局 竹 端 裕

平成25年11月3日、4日、ホテル金沢で第53回北陸信越薬剤師大会が開催されました。

記念講演で狭間先生が話された『共同薬物治療管理～医師と薬剤師の新たな連携～』（より速く正確に調剤し服薬指導する）から（調剤した医薬品を服用された患者がその後どういう状態にあるかという未来を予測しそれを自らが確認し、薬学的な専門性に立脚してアセスメントを行う）に変わらねばと。

狭間先生がお話の中で、薬剤師のあり方について言われた事が印象深く、心に響き

ました。

石川県薬剤師会も多くの在宅に関する講習を主催されております。講習を聞き、必要性を感じながらも未だに自分自身の薬局は一步踏み出せずにいます。

今後、いち早く在宅医療に関わり経験を積み重ね、薬剤師としてのスキルを高め、地域の医療に役立ちたいと思いました。

最後に今大会においては単に参加するだけでなく、準備から携わることができ、貴重な経験をさせていただきました。

その中で、何もわからない私に多くの諸先輩の先生方に御教授頂き感謝いたします。

北陸信越薬剤師学術大会に参加して

石川県薬剤師研修センター 吉 藤 茂 行

11月4日の学術大会に参加した。当日は幸いに好天に恵まれ、開始前から多くの参加者が会場に入り、なかなかの盛況であった。各会場の発表の流れはスムーズで、大きな遅れやトラブルは全くなかった。ホテルのスペースの都合上、発表会場が2階（第1会場）と4階（第2、3会場）に分かれていたが参加者の移動に支障をきたすことはなかった。第1会場が2階であったため、隣接するポスター会場・機器展示場にも人が流れやすく、賑わいをみせていたように思う。ポスター会場は非常に広く、

しかも壁側にポスター掲示板を並べてあり、各発表を見て回るにも目的のポスターへ移動するのも好都合であった。機器展示では、内服補助のゼリーなどに関心が高く多くの人が集まっていた。一方、薬局向けパソコンシステムは、薬局は導入済みであるためか展示ブースの前に立つ参加者は少なかった。

ともかく、学術大会は大成功だったと思います。早くから企画し、周到な準備をされた責任者の西尾浩次先生をはじめ学術担当委員・スタッフ、また当日の関係者の皆

様の努力に感謝しています。

ところで、このように恵まれた発表環境に対し、発表の内容はどうであったらうか。“薬局の主人”が主体で始まった薬剤師会では学術発表のレベルは、薬学系大学教員が主体の日本薬学会や大学病院薬剤部がリードする日本医療薬学会のそれと比べ“低い”といわれている。

内容よりも“発表する”ことに意義があったように思われる。数年前に宮崎県で行われた日薬学術大会で目に余る発表（同一内容で発表者のみが異なる口頭・ポスターによる重複、メーカーのデータをそっくり利用した内容、などが指摘された）がいくつかあり、その後、日薬は発表基準をつくり、また学術大会へエントリーしたものを査読・チェックしているようである。

そのような日薬学術大会へのエントリーも“敷居が高い”と思っている薬剤師が多い中での北陸信越薬剤師学術大会である。それぞれのレベルがあっているのではないかと考える人もいると思うが、学術という名のもとに行われるのであるので、レベル

の向上を目指すことは努力目標であろう。

処方せん調剤が主体となった薬局薬剤師の日常業務で扱う多種の医薬品の知識や疾病に対する医療知識は高水準である。これらに対する種々の問題意識、向学心・探究心も旺盛であるが、研究につながらないジレンマがある。わかっているけどどのように研究すればよいのか、また、研究環境が整っていないなど悩みがある。国家試験に明け暮れて大学を卒業し、中には卒論研究さえやってこなかった薬局薬剤師に立派な研究発表をなさいと望むことはいささか無理がある。でも、少しずつでも向上してゆかなければ学術大会の意義が薄れてゆくであろう。

エントリーシートは、目的・方法・結果・結論・考察に区分して記載するように指示されているが、これら一連の流れが学術研究の方法論（methodology）である。この方法論を研究を開始する前にしっかり身につけていただければ、発表は楽しく意義のあるものになろう。

能村明文会長 旭日双光章受章祝賀会

石川県薬剤師会 中 村 正 人

平成25年11月17日（日）、能村明文会長の旭日双光章受章祝賀会がホテル日航金沢にて、すでに同窓生や友人などによる祝賀会を済ませているにもかかわらず150名もの出席者のもと行われました。本来は春の叙勲ですので、もっと早い時期にと予定しておりましたが、今年は11月3日・4日に北陸信越薬剤師大会の開催など、重大行事

が重なったため、能村会長の意向もありこのたびの開催となりました。受章発表は平成25年4月29日、伝達式は5月10日皇居にて行われております。能村会長は、平成16年11月の藍綬褒章（薬事功労）に次ぐ叙勲でございます。本受章は、薬事功労にもとづくものでありますが、医薬分業に関する功績は、昭和47年金沢市薬剤師会理事、昭



和53年石川県薬剤師会理事、平成6年開局薬剤師部会長、平成16年石川県薬剤師会副会長、平成22年石川県薬剤師会会長などの経歴

を通して一貫した組織運営能力を発揮され、薬局保険業務のリーダーとして、また学校薬剤師会会長としての責務に通じ、また准教授として大学での臨床薬学講義を担当し、さらに日本専門薬局同志会会長も兼任され、地域の健康を守るための薬局経営をご家族と協力しつつ、親しまれる薬局をモットーに続けておられます。さて、祝賀会ではご夫妻入場のあと、ご祝儀の日本舞踊 宗家藤間流師範 藤間 三千也による長唄「七福神」が披露され、綿谷 小作発起人代表のあいさつ、衆議院議員 馳 浩、参

議院議員 藤井 基之、石川県健康福祉部長 北川 龍郎、石川県医師会会長 近藤 邦夫、石川県歯科医師会会長 蓮池 芳浩、湧永製薬株式会社社長 湧永 寛仁の各氏のお祝いのことばが続いた。祝電披露のあと、記念品贈呈では、長年能村会長を支えてきた奥様のご助力をたたえて、お二人でのご旅行をと旅行券の目録を、中村正人発起人から手渡されました。お礼のことばが能村明文会長から発せられ、ピアニスト米谷昌美さんによる祝奏のピアノ演奏で会場を一気にお祝いのムードに包み込みながら、北陸大学理事長兼学長 小倉 勤氏による乾杯でお祝いの席にふさわしい終始華やかな雰囲気のまま万歳三唱の音頭を日本専門薬局同志会の中村 彰宏氏がとられ、院瀬見義弘発起人のお礼のあいさつでなごやかに会が納まりました。

発起人 綿谷 小作 院瀬見義弘
手取屋瑞子 兼田 春生
中村 正人



第6回若手薬剤師指導者育成フォーラムに参加して

平成25年11月23日24日の2日間、千葉県船橋市にて開催された第6回若手薬剤師指導者育成フォーラムに参加しました。

普段は日常業務に追われ薬剤師として客観的に自分を観る機会の無かった私にとって、今回のフォーラム参加は貴重な経験になりました。

“医薬分業がたどってきた道”という基調講演では「吾人は茲に至りて熟涙の滂沱たるを覚ゆ」とのフレーズが一番印象に残りました。1893年に日本薬剤師会が設立された時の“私たちはここに至って熱い涙がとめどなく流れ出た”との記録だそうです。

参加型ディスカッションとSGDでは、様々な地域の様々な立場の意見を聴くことができ、非常に有意義な時間を過ごすことができました。

また、漠然と思っていた可能性や、抱えていた問題点などについても忌憚のない話し合いをすることで、より明確な考えとして持てるようになったと感じています。

国会見学では、国政の場を間近で見ることができました。

そのような場で薬剤師の職能を維持し、さらに拡げていくには薬剤師連盟など政治的な活動を行う団体が不可欠であると痛感しました。

今回のフォーラム参加で政治活動の重要性、薬剤師の職能の重要性を改めて認識す

石川県若手薬剤師会 澤野輝夫

ることができました。

フォーラムに参加させていただき、ありがとうございました。

また、石川県若手薬剤師会が先日発足されました。

一人でも多くの方に参加していただき、薬剤師どうしの横の繋がりを増やしていけたらいいと思います。

このようなフォーラムにもどんどん参加して、薬剤師全体の底上げになればいいと思います。沢山の参加お待ちしております。



石川県若手薬剤師会



第6回若手薬剤師指導者育成フォーラムにて
澤野輝夫氏（前列右端）

My Portfolio

私のポートフォリオ

若葉らいふ薬局 小 島 晴 日

研修形式	研修会
JPALS研修会コード	◎利用する JPALS研修会コード「17-2013-0042-108」
研修会課題名	薬剤師P S 講座（6月）
学習時間	2時間
受講年月日	2013/06/09 ～ 2013/06/09
場所	小松市民センターセミナールーム
研修会主催者	石川県薬剤師会
研修内容 （演題・演者など）	認知症の医学的理解—薬物治療から生活支援まで— 石川県立高松病院院長 石川県認知症疾患医療センター長 北村 立先生
この研修のまとめ （例：学んだ言葉、内容を理解できたものと、よく理解できなかったものに整理する等） 【200文字以上、必須項目】 入力文字数 1203文字	<p>認知症の基本的な症状から始まり、その周辺症状や介護のポイント、薬物治療について学んだ。</p> <p>★はじめに★ 今回の講義ではDSM-IVの考え方が用いられた。 （最新のDSM-Vでは認知症の名前がなくなり、記憶障害がない場合も含め神経心理障害となったため）</p> <p>1. 認知症とはどのようなものか 記憶障害と判断力の障害に加え意識がはっきりしているため社会生活・対人関係に支障がでている状態とされている。 （上記に加え身体疾患や脳の病変がなくうつ病などではない） ポイントは「メタ認知の低下」 ・時計の文字盤（円盤に1～12の数字）を書くように言っても書けない ・手真似をするように言ってもできない ★自分を客観的に見るができなくなっている</p> <p>2. 認知症に伴う症状の総称「BPSD」 70%～90%の人が併発する、介護者を困らせる原因 →頻度が高く、身体的・精神的・社会的苦痛や経済的損失をともなってしまう 代表的なBPSDには物盗られ妄想がある ⇒どのように対処すればいいのか (1) まず「環境への不応」が原因と考え、環境調節や対応面で工夫を行う (2) 本人や介護者のQOLに影響を与える場合は薬物療法の対象となる</p>

	<p>★BPSDの改善とADLの低下は関連あり。 BPSDを抑えることばかり考えると患者のADLが低下し余計に介護者の負担となるため注意</p> <p>3. 中核症状と周辺症状 (BPSD) 中核症状：必ずあり、時間とともに悪化し、失われた神経細胞によるもの B P S D：必ずあるわけではなく、認知症の進行とは比例せず、残っている神経細胞が環境に反応して生じるもの</p> <p>4. 薬物治療 治療の目標は進行を遅らせること。 講義内では認知症治療薬4種についてその特徴がまとめられた</p> <p>①アリセプト 効果がもっとも強く、軽度から高度まで使用可能。抑うつや自発性の低下に対する改善効果あり。ただし服用で怒りっぽくなる患者もいる。</p> <p>②ガランタミン ニコチン性アセチルコリン受容体の感受性亢進、神経伝達物質分泌促進効果あり。高度の患者には使用できない。</p> <p>③リバスチグミン 貼付剤。ただしかぶれの可能性がやや高い（3割）</p> <p>④メマンチン 興奮、攻撃性の抑制効果あり。眠気のSEのため睡眠障害が改善する可能性がある。めまいのSEあり転倒注意。</p> <p>5. アルツハイマー型認知症について アルツハイマー病でよくみられる認知障害の中で印象に残ったものがあったのでまとめる。</p> <p>★観念運動失効</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然な自発的な動作はできるのに命令されるとできない ・動作の自動性と意図性の解離現象 <p>(例) 普段から歯磨きをしているのに、歯を磨いてくださいと改めて言われると歯磨きできない。 ⇒無意識に動作を行う場合は手続き記憶をつかっているため自然に行動できる。</p> <p>普段から生活している自宅では全く困っていなかったことが施設等に入り急にできなくなり、症状が急激に悪化したように見えるのはこのためと言われている。</p> <p>ポイントは「横から口出ししない、せかさない」</p>
<p>学習内容で実践活用が出来そうな例 学習が実践活用出来た内容【自由記載】</p>	<p>★抑肝散の苦みがココアで消えるということ。 小児の服薬指導でよく活躍するココアが、漢方とも相性が良いことを聞き驚いた。 抑肝散は普段の業務でもよく取り扱うため、定期薬としてすでに服用されている方にもひとこと声掛けをしたい。</p>

日本薬剤師会・生涯学習支援システム

はじめてみよう！

JPALS

日本薬剤師会作成

JPALS 超簡単利用マニュアル

① アクセス～ログイン編

② プレチェックをしよう!!

プレチェックとは、日薬PS表にある到達目標383項目について「学習した」か「学習していない」のいずれかに振り分ける作業です。

★ どちらか不明な場合は、「学習していない」にチェックしておきましょう。

③ 実践記録編

ポートフォリオは自分の学習記録簿です

学んだ事、理解できたこと、理解できなかったこと、思いつくまま自由に記入しましょう。

【記入のヒント】

- ☆ 研修内容のまとめ
- ☆ 講師・講演者の考え方に「共感する」「共感できない」の事項
- ☆ 「共感できない」の場合、その根拠や自分の主張
- ☆ 全体を通しての自分の感想も
- ☆ 学習中の疑問点や語句等を他の文献やネットで調べたメモなど。
- ☆ 仲間とSGDで話し合った内容や自分との共通点、違う点。
- ☆ 今後の業務等へどのように活用してゆくか
- ☆ 次回への学習目標など

超簡単利用マニュアルは、日薬ホームページでご覧ください

平成25年度 県民啓発講座

県民のための 健康講座

入場無料
粗品進呈

日時 平成26年1月26日(日) 午後1時～4時

場所 ANAクラウンプラザホテル金沢 3階 鳳の間
(旧 金沢全日空ホテル) 金沢市昭和町16-3 (電話076-224-6111)

第1部 「薬を安心してのむために」

- ビデオ上映
- シンポジウム

「知ってますか?クスリの正しい使い方」

第2部 特別講演

「イキイキ長寿健康法・免疫力を高める生活 ～アトピーからがんまで～」

ふじた こういちろう
東京医科歯科大学名誉教授
人間総合科学大学教授
藤田 紘一郎氏

Profile

1939年、中国・旧満州に生まれる。東京医科歯科大学医学部を卒業後、東京大学大学院医学系研究科博士課程修了。医学博士。テキサス大学留学後、金沢医科大学教授、長崎大学医学部教授、東京医科歯科大学大学院教授を経て、2005年4月より人間総合科学大学教授、東京医科歯科大学名誉教授。専門は感染症免疫学、寄生虫学、熱帯医学。NPO自然免疫健康研究会理事長。1983年に寄生虫体内のアレルゲン発見で小泉賞受賞。2000年にヒトATLウイルス伝播経路などの研究で、日本文化振興会・社会文化賞及び国際文化栄誉賞を受賞。

主な著書には『笑うカイチュウ』、『空飛ぶ寄生虫』（講談社文庫）、『原始人健康学』『水の健康学』（新潮選書）、『清潔はビョーキだ』（朝日文庫）、『ワコンコロ』（実業之日本社）、『子どもの「免疫力」を高める方法』（PHP出版）、『万病を防ぐ「水」の飲み方・運び方』（講談社+α文庫）、『免疫力をアップする科学』、『水と体の健康学』（ソフトバンク・サイエンスアイ新書）、『50歳からは炭水化物をやめなさい』（大和書房）、『脳はバカ。腸はかしこい』『乳酸菌生活は悪者いらす』（三五館）、『腸をダメにする習慣、避ける習慣』（ワニブックスPLUS新書）などがある。

■主催/公益社団法人 石川県薬剤師会 ■共催/一般社団法人 金沢市薬剤師会 ■後援/北国新聞社

原稿を募集しています。

- ◇「県薬レポート」では、この小冊子をより一層愛されるものになりたいと願って、読者の皆様から広く原稿を募集しています。
- ◇テーマや内容、体裁は自由です。評論、随筆、意見、提言、店頭体験談、趣味の話、詩、短歌、俳句、川柳、或はマンガ、イラスト、カット、写真等々何でも結構です。ただしあまり長いものは御遠慮の程を……。
- ◇用紙や宛先等は下記のとおりです。
用紙：400字詰原稿用紙又はハガキ
メ切：特に設けていませんいつでもどうぞ
宛先：金沢市広岡町イ25-10
公益社団法人石川県薬剤師会内

その他：採否は編集係におまかせ下さい。なお、いただいた原稿はお返しできませんのでご了承ください。

「県薬レポート」編集委員会
委員：中森 慶滋、三浦 智子、西上 潤
橋本 昌子、山崎 敏誉、吉藤 茂行
石川県薬剤師会ホームページのアドレス
<http://www.ishikawakenyaku.com/>
会員専用パスワード
ID: ipa01 password: ipa01 (いずれも半角入力)
eメール・アドレス
isiyaku@plaza-woo.jp